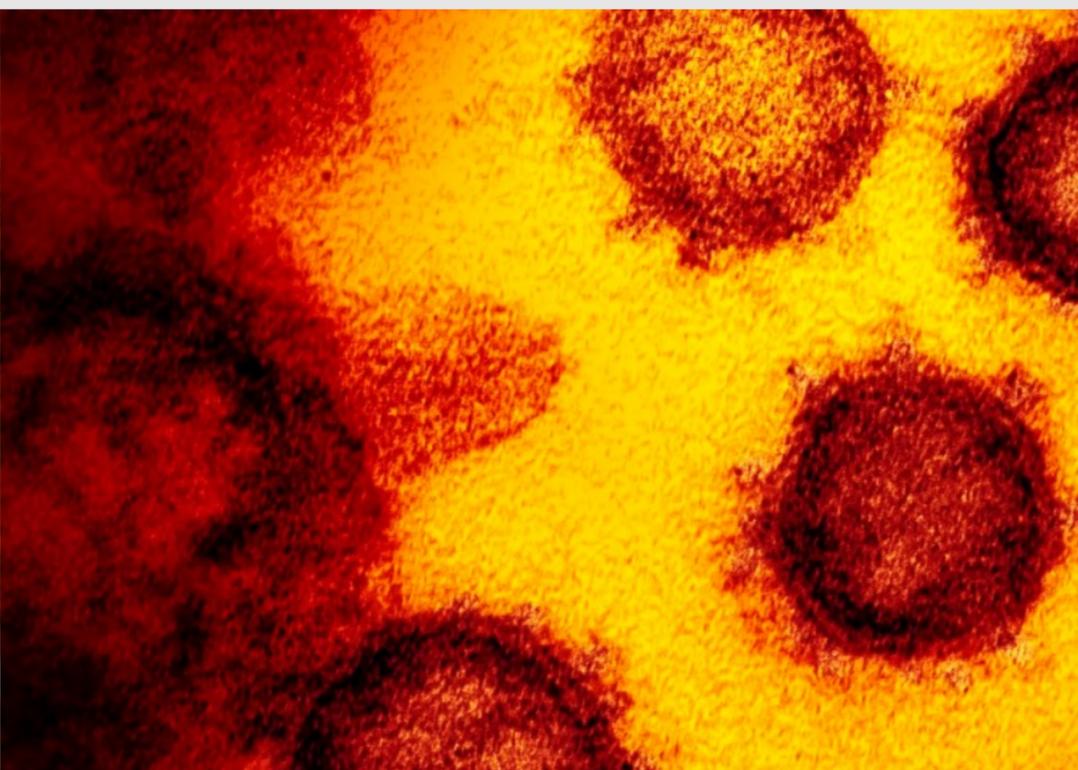


日本アルプスガイドセンター
2020年度
アニュアル レポート



一般社団法人 日本アルプスガイドセンター

総括 Overall Review

2020年春、年初より拡がり続ける新型コロナウイルスCOVID-19がパンデミックとして世界に蔓延し、4月には日本でも緊急事態宣言が発令され、あらゆる分野で経済活動は停滞、感染拡大に直結する人流を促す観光事業はインバウンドをはじめ、山岳・平地・海、どこも完全に停止状態となりました。

私ども法人の事業本流とも言える山岳観光が停止する事態を受け、法人会員と想定していた観光事業関連、やアウトドア関連への新規営業活動も停止せざるを得ない状況で、事業は2年目にして早くも難しい局面を迎えました。Webサイトの充実と営業の両側面で考えていた事業の広がりですが、当面はWebサイトの充実を図るべく、足りていなかった新たなルートガイドを追加することをはじめ、宿泊先のコンテンツや新たなアクティビティの情報などの掲載を進め、サイトの充実を図ることに専念いたしました。

特にエリア別ではなく、難易度別のルート紹介ページを完成させることができたのは、初めての日本アルプスを目指す人には参考になるかと思われます。

また6月末、2019年からスタートした環境省の「野生動物観光促進」2年目の補助事業がスタート。2020年は環境省とともにライチョウ保護事業へ協力し、「ライチョウ観察ルールハンドブック」を制作することになり、短時間でスタッフを組み立て、取材から制作をへて9月に完成しました。従来ライチョウ保護が叫ばれる中で、観察ルールの類となるものを明文化した例がなく、今回初めてそれが実現しただけでなく、デザイン的にも秀逸で見やすく、配布先関係先で大変に注目され、評価されました。

9月末から10月にかけては「ライチョウ観察ルールブック」をベースに乗鞍においてテストツアーを実施、近い将来日本アルプスの乗鞍や立山をベースとした、ライチョウ観察ツアーの実現に向けて、その可能性を探ることができました。私どもの法人は事業としては圏域外からの訪問者を増やすことを目的としているだけに、ライチョウルールブックの作成がライチョウの保護活動につながることはもちろん必要としながらも、ツアー実施による地域への来訪と地域経済の活性化につなげることが必要です。

秋以降に関しては次年度ライチョウ観察ツアーを本格的に実施させる枠組みをどのように作るか、環境省や地元の事業者、山岳ガイド協会などとともにこの事業の成立に向けて活動基盤の整備を進めることができました。

2021年6月
一般社団法人日本アルプスガイドセンター
代表理事 新美 透

一般社団法人 日本アルプス ガイドセンター 発足2年目

事業目的 広く世界から日本アルプスへの登山・アウトドアを目的とした来訪を促進させ、地域社会の活性化へつなげるとともに、日本アルプスが世界の観光TOPブランドへ育つ一助となる。

事業概要 世界中の（海外、国内）登山者、ウインタースポーツ愛好者、アウトドアファンに向けて、日本アルプス（八ヶ岳、霧ヶ峰、美ヶ原などのエリア含む）山域の登山・アウトドア情報と関連する有益なサービスを提供する。

VISION「3つのハブとなる」



世界中の登山者、アウトドアファンと日本アルプス圏域とをつなげるハブとなり、日本アルプスの魅力を世界中に拡散する

Global Brand



次世代の登山者、アウトドアファンへつなげるハブとなり、日本アルプスの魅力を彼らに継承していく

Sustainability



日本アルプスを通じて地域社会や行政、民間の力を横につなげるハブとなり、地域の活性化への力となる

Crossover

事業名称 一般社団法人 日本アルプス ガイドセンター

本社事業所 東京都 渋谷区渋谷3-6-2 エクラート渋谷5F HUB内
長野県塩尻市広丘高出2205

役員

代表理事	新美 透	(元アサツーディ・ケイ営業局長)
専務理事	中林 玲	(Web制作会社イーオフィス 代表取締役)
理事	加藤銀次郎	(全国山の日協議会 運営委員、元松本市山岳観光課 課長)
理事	中田 真二	(山歩家 山岳ライター)
理事	富生 昌史	(ADK クリエイティブディレクター)
監事	磯野 剛太	(全国山の日協議会 理事長、日本山岳ガイド協会 理事長)

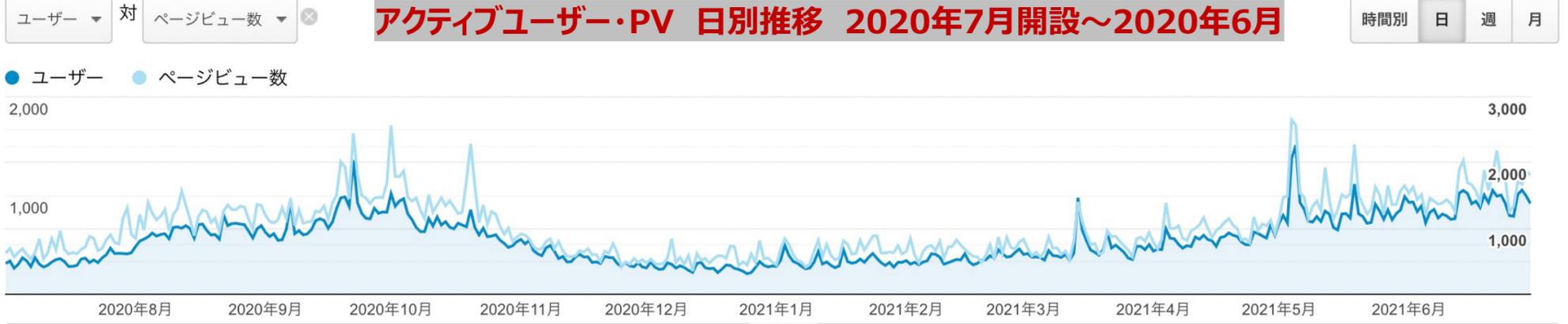
連絡先 03-5324-2385

※監事、磯野剛太氏はさる2019年3月11日ご逝去されました。後任が決まるまで監事は空席となります。

「The Japan Alps」

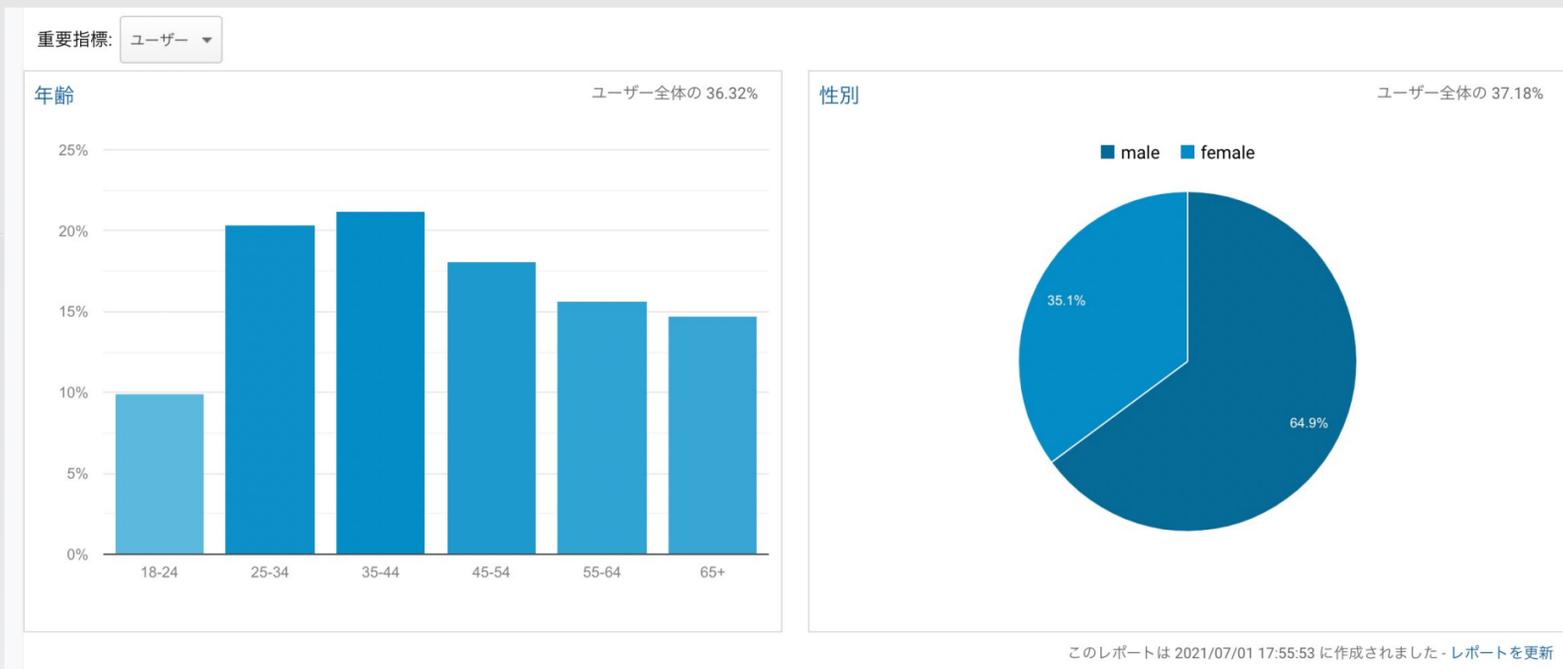
Webサイトユーザー分

アクティブユーザー・PV 日別推移 2020年7月開設～2020年6月

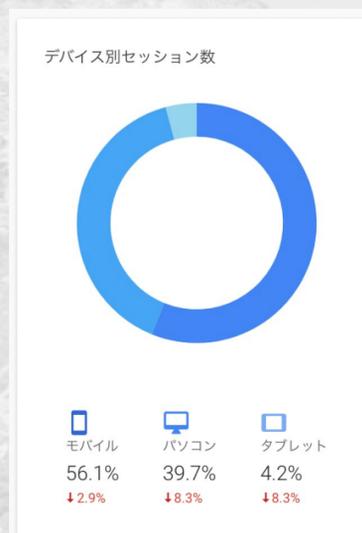


- **トータルユニークユーザー数**
2019年7月～2020年5月 15,677
2020年7月～2021年6月 171,374 (+1093%)
- **月間のユニークユーザー数**
2019年7月 346 → 2020年5月 3,943
→2021年6月 24,322 (+616.8%)
- **月間PV数**
2019年7月 3,970 → 2020年5月 11,540
→2021年6月 47,893PV

ユーザーの属性



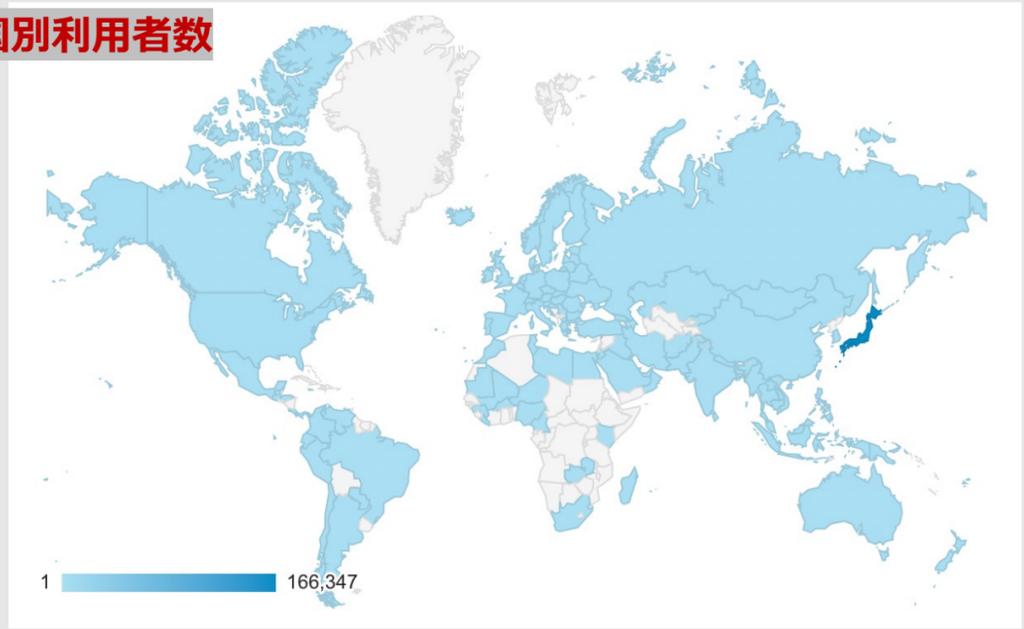
- **利用者の65%が男性**
- **利用者の42%が25-44歳と若い世代**
- **デバイスはモバイルがPCを逆転**



ユーザーの利用デバイス

1.	 Japan
2.	 United States
3.	 Australia
4.	 United Kingdom
5.	 Singapore
6.	 Canada
7.	 China
8.	 Hong Kong
9.	 Philippines
10.	 Thailand
11.	 South Korea
12.	 Taiwan
13.	 Malaysia
14.	 Germany
15.	(not set)
16.	 France

アクティブユーザーの国別利用者数



ページ別ページビューランキング

1.	日本アルプスの魅力 THE JAPAN ALPS
2.	日本アルプスの野生動物たち 哺乳類篇 THE JAPAN ALPS
3.	日本アルプスのロケーション THE JAPAN ALPS
4.	THE JAPAN ALPS THE JAPAN ALPS
5.	山小屋とキャンプ場 THE JAPAN ALPS
6.	日本アルプス 登山とハイキング THE JAPAN ALPS
7.	室堂へのアクセス THE JAPAN ALPS
8.	難易度から登る山を探す THE JAPAN ALPS
9.	折立へのアクセス THE JAPAN ALPS
10.	七倉山荘-高瀬ダムへのアクセス THE JAPAN ALPS

- 国別利用者では 日本が約97% 日本以外が約 3 %
- 利用者は延べ111か国に及ぶ
- 「TOPページ」、「日本アルプスの魅力」ページのPVが高い
- 平均ページ利用時間 1' 5 1"

ウェブサイト「The Japan Alps」が立ち上がり2年が経過いたしました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、サイトコンテンツの柱である、山のガイド、どの山へどうやって行くのか、どのように登るのか、その内容は実践的なものであるため、山へ行けない以上、サイトの数が大きく伸びることは期待できませんでした。

ただ2年目となって検索ページでも掲出が少しずつ上位に増え始め、TOPページを改訂した2020年夏以降は、サイト来訪者が目に見えて増え、**8月後半には1日1000人の来訪者**、9月には瞬間的に1500の来訪者が見られました。2021年すでに第3期令和3年度に入っていて純粋な比較はできませんが、サイト訪問客は昨年引き続き確実に増加傾向にあります。現在はコンスタントに7,000/週間の利用があり今後のピークシーズンに向けての需要が期待される。

特筆すべきは山へ本格的に入り込む**25歳以上45歳未満の男性利用**が相変わらず多く、全体の**4割以上**更に54歳までとなるとその数が6割となります。日本アルプスへの若者層の集客に繋がっているメディアに成長しつつあると言えます。

一方で**海外からのアクセス**は初年度に比べ数こそ増えてはいるが、**比率が低下している**。実践的なガイドサイトだけに海外ではその利用がコロナウイルスの感染拡大によって必要のないものとされてしまっている可能性があります。更にコンテンツのアクセスで見るとまだまだ山のガイドとしての活用方法は想定ほどではないことが伺えます。そのために昨年に引き続きTOPページを改訂して、山の案内に直結する導線を開いたことで、今後更にアクセスが増えると思われれます。

パートナーA/
賛助会員

●2020年度、賛助会員様として事業をサポートしていただいている企業様、個人様の状況

◆オフィシャルパートナー（特別賛助会員様） 1社



株式会社 フジドリームエアラインズ様

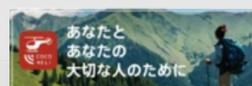
◆プロフェッショナルパートナー、エリアパートナー（法人賛助会員様） 4社



株式会社 好日山荘様



黒部峡谷鉄道 株式会社様



AUTHENTIC JAPAN 株式会社



有限会社 イーオフィス様

◆プライベートパートナー（個人賛助会員様） @3,600円

2口以上の会員様 6名様
1口以上の会員様 41名様

合計60口

パートナーB/
ご協力法人・個人

- プライベートパートナー/ 個人賛助会員になると、いくつかの権利を付与させていただきます。
- ・毎年ニホンアルプスガイドセンターが代表して賛助会費の一部をまとめ、日本アルプス山域のためになる寄付行為を行います。
- ・ウエルカムプレゼントチケットを1口につき1枚差し上げています。
このチケットを山小屋などのご協力法人へ渡していただくと、山小屋からプレゼントを差し上げています。
- ・その他今後交通事業の割引やお店の割引などを進めて参ります。

以下は会員向けのサービスなどをご協力いただいている法人や今年の寄付内容です。

◆2020年シーズン、プライベートパートナー/ 個人賛助会員様向けの特典をご協力いただいている法人

- ・穂高岳山荘様
- ・湊沢ヒュッテ様
- ・上高地 五千尺ホテル様
- ・上高地ルミエスタホテル様（アルピコホールディングス様）
- ・上高地アルペンホテル様（松本市様）
- ・上高地温泉ホテル様
- ・中の湯温泉様
- ・ゲストハウス雷鳥（乗鞍）
- ・白馬山荘様

◆2020年度のドネーション（実施は2021年度）はライチョウ関連で検討中です。

日本アルプスガイドセンターでは、2020年3月、環境省が新しく始めた野生動物観光促進事業の支援を受け、日本アルプスを舞台とした野生動物観察コンテンツをスタートしました。年度が改まった2020年度は7月から野生動物観光の支援事業第2期が始まり、日本アルプスガイドセンターは今年の野生動物観察ページに加え、新たに日本アルプスエリアの野生生物の象徴的存在とも言える「ライチョウ」の保護事業に関与しました。

具体的には登山者やハイカーがライチョウと偶然出くわした時の接し方、あるいは観察方法について明文化されたものがなかったということ为前提にして、初めてその明文化を行い同時にそれを周知するためにルールブックのようなものを環境省と制作することになりました。

そのようなことで出来上がったものが「ライチョウ観察ルールハンドブック」として9月に完成しました。



またこの「ライチョウ観察ルールブック」をベースにして、ライチョウを観察するテストツアーを、日本山岳ガイド協会のやまたみと一緒に実施。次年度以降ライチョウの保護を前提として、ツアーに参加することでルールブックを実践的に学びライチョウとの距離感を掴むと同時に、ライチョウ観察をきっかけとした日本アルプスエリアへの来訪を促進することを狙いとして行いました。

野生動物を観光促進につなげ、保護と利用の両立を図る上で、日本アルプス固有となるライチョウの存在は大きな可能性を持つことがテストツアーを通じて確認できました。



決算/KPI 2020

◆法人収入（千円）

売上 289	会費収入 867	補助金収入 6,402
法人収入 7,558		特別収入 2,000

◆営業収支、経常収支（千円）

収入 7,558	販管費/一般管理費 15,104
	営業収支 ▲7,546
特別収入 2,000	経常収支 ▲5,546

◆法人パートナー数（オフィシャル含む）

5社

◆個人賛助口数

60口

◆個人会員向け特典、ご協力法人数

9社

KPI For 2021

	2019実績	2020 修正計画	2020実績	計画比	2021計画
収入	3,903	(4,000)	7,558	3,558	9,000
営業収支	▲7,335	(▲5,000)	▲7,546	-2,546	▲4,000
法人 パートナー	6社	(4社)	4社	+ - 0	8社
個人 パートナー	224口	(200口)	60口	-140	100口
協力法人	7社	(30社)	9社	+ 2	10社

2020年の会計年度は修正計画を上回る赤字となりました。

表面的な収益の赤字幅は創業当初からの想定範囲だが、賛助会費収入が昨年から大幅に落ち込むことで赤字幅が大きくなったものです。原因はコロナ禍による企業からの支援金をはじめ、個人からの大型賛助金が減ったことによります。

また新規に法人会員として想定していた観光関連事業社をはじめ、コロナ禍そのものや、リモートに頼らざるを得ない営業活動によって、新規賛助会員開拓が十分できなかったことも収入減への影響は大きく、2021年にも及ぶ課題を残したと言えます。

一方でサイトについては少しずつコンテンツが増えたことや、環境省の野生動物観光事業による制作費の増加によって外注費が短期では想定よりも増えたことで、期初よりも赤字が上回ることとなりました。ただし、Webサイトの制作費についてはむしろ計画よりも十分投資にまわっていない状況でもあります。

2021年はやはり夏までは環境省の補助事業が中心の業務となり、後半はサイトの充実などを目的とした制作などになるものと思われそうですが、補助事業は3年目の区切りも迎え、コロナを超えての新規営業活動が事業活動の中心となっていく予定です。

FY2 事業決算 I
B/S

貸借対照表 令和3年3月31日時点

単位: 円

	2020/03/31	2021/03/31	Flux
資産の部			
現金及び預金	1,612,332	1,414,168	△ 198,164
売掛金	0	289,000	289,000
前渡金	1,550,000	0	△ 1,550,000
未収入金	2,321,242	6,402,003	4,080,761
流動資産	5,483,574	8,105,171	2,621,597
創立費	4,751,082	4,751,082	0
繰延資産	4,751,082	4,751,082	0
資産	10,234,656	12,856,253	2,621,597
負債の部			
未払金	1,609,630	4,885,427	3,275,797
未払法人税等	64,100	70,000	5,900
預り金	21,920	△ 12,360	△ 34,280
流動負債	1,695,650	4,943,067	3,247,417
長期借入金	15,938,481	20,928,851	4,990,370
固定負債	15,938,481	20,928,851	4,990,370
負債	17,634,131	25,871,918	8,237,787
純資産の部			
繰越利益剰余金	0	△ 7,399,475	△ 7,399,475
当期純損益	△ 7,399,475	△ 5,616,190	1,783,285
利益剰余金	△ 7,399,475	△ 13,015,665	△ 5,616,190
株主資本	△ 7,399,475	△ 13,015,665	△ 5,616,190
純資産	△ 7,399,475	△ 13,015,665	△ 5,616,190
負債・純資産合計	10,234,656	12,856,253	2,621,597

FY 2 事業決算 II P/L

損益計算書 (自平成 31 年 4 月 23 日 至令和 3 年 3 月 31 日)

単位: 円

	2019/04/23 2020/03/31	2020/04/01 2021/03/31	Flux
売上高			
売上高	0	289,000	289,000
会費収入	1,582,520	867,279	△ 715,241
補助金収入	2,321,241	6,402,000	4,080,759
売上高	3,903,761	7,558,279	3,654,518
売上総利益	3,903,761	7,558,279	3,654,518
販管費			
役員報酬	2,700,000	1,800,000	△ 900,000
給料手当	316,000	392,000	76,000
法定福利費	91,830	368,108	276,278
外注費	6,050,316	9,468,220	3,417,904
接待交際費	141,598	86,928	△ 54,670
会議費	43,917	110,804	66,887
諸会費	60,000	60,000	0
旅費交通費	903,159	904,771	1,612
通信費	83,199	213,901	130,702
荷造運賃	2,038	0	△ 2,038
販売促進費	17,120	1,027,233	1,010,113
消耗品費	132,167	2,728	△ 129,439
支払手数料	348,730	335,705	△ 13,025
地代家賃	285,773	328,645	42,872
租税公課	63,300	450	△ 62,850
支払保険料	0	5,000	5,000
販売費及び一般管理費	11,239,147	15,104,493	3,865,346
営業損益	△ 7,335,386	△ 7,546,214	△ 210,828
営業外収益			
受取利息	11	24	13
雑収入	0	2,000,000	2,000,000
営業外収益	11	2,000,024	2,000,013
経常損益	△ 7,335,375	△ 5,546,190	1,789,185
税引前当期純損益	△ 7,335,375	△ 5,546,190	1,789,185
法人税			
法人税等	64,100	70,000	5,900
税金費用	64,100	70,000	5,900
	△ 7,399,475	△ 5,616,190	1,783,285

会計報告：シンアカウンティングサービス